

ためらわずに救急車を 呼ぶべき症状とは？

～救急車の適切な利用について～

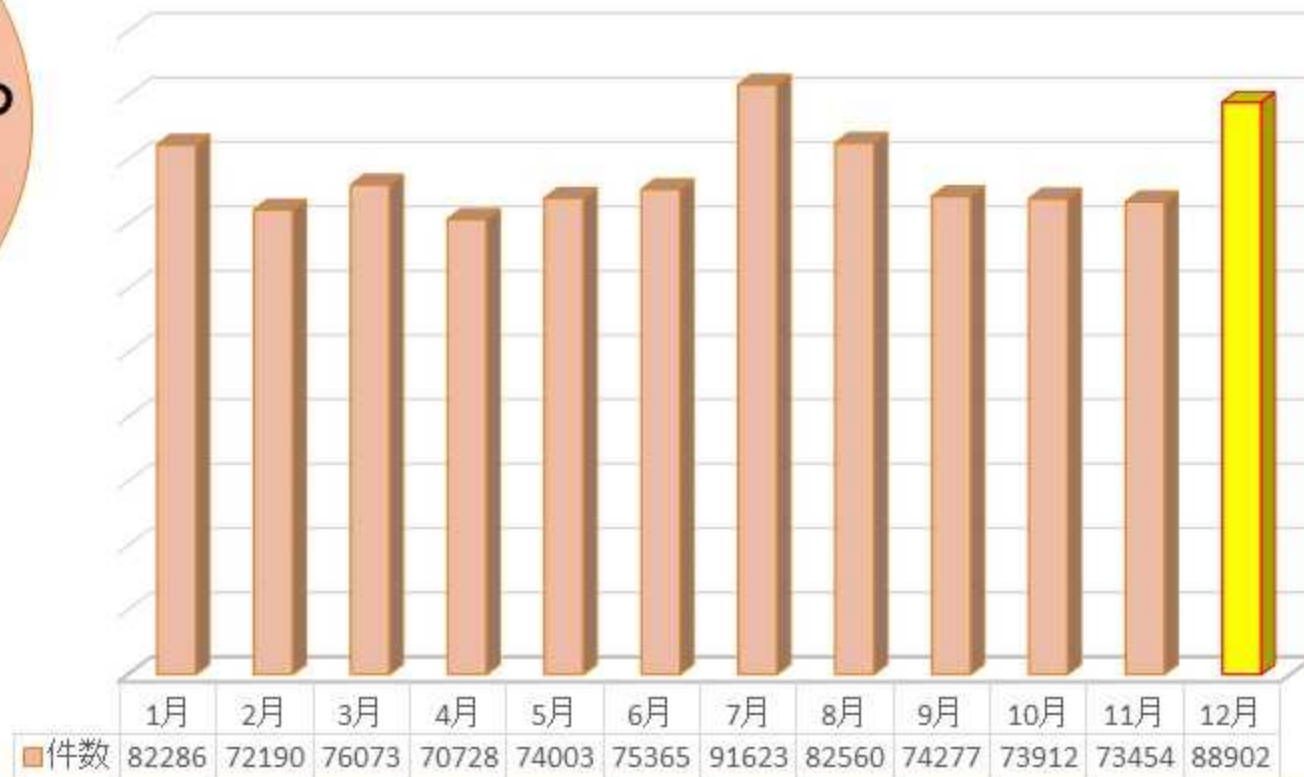


12月は119番通報が多い！

12月は急激な気温低下や、感染症の流行などの理由から救急要請が特に増加する時期です！



令和6年 東京消防庁救急隊月別出場件数



救急車の出場のうち約50%が軽症



初診時程度別割合(東京消防庁)



出典: 東京消防庁【救急活動の現況】

多くの方が必要以上に救急車を利用しています。
では、【本当に呼ぶべき症状】 とは何でしょうか？

こんな時はためらわずに119

高齢者



頭

突然の頭痛や高熱

顔

顔半分が動きにくい・しびれる

胸や背中

激痛、呼吸困難

おなか

突然の激しい腹痛
血を吐く

手・足

急なしびれ



こども



頭

痛がってけいれんがある
血が止まらない

顔

顔色が明らかに悪い

胸

呼吸が弱い
ゼーゼーしていて苦しそう

おなか

激しい下痢や嘔吐があり、
意識がはっきりしない

手・足

硬直している

迷ったら#7119

救急車を呼ぶか迷った時の相談窓口。



 **電話で相談**

東京消防庁救急相談センター

#7119

こちらからもつながります
23区 03-3212-2323 多摩地区 042-521-2323

24時間受付・年中無休

 #7119に電話!

救急車の適切な利用にご協力をお願いします。